高校生国語現代文　文章問題を解く前に知っておきたい知識　003　副詞の呼応

副詞の呼応

今回取り上げるのは副詞の使い方の中でも重要なものです。
まずは例文を見てみましょう。

例文

1　君の技はたしかに素晴らしい。しかし　私には通用しない。

たしかに　は、君の技を素晴らしいと単に強調しているのではありません。素晴らしいと褒めて持ち上げておいて、のちに　しかし　で否定して下げるのです。結果として「私」ってそんな技くらわない凄い人と上げています。
口語の会話では、

「このチョコケーキ、前よりもおいしくなったよね！」
「たしかに！」

のように、相手の話に同意する時や肯定するのに使われますが、書き言葉ではそのようには使いません。
例文にあるように副詞の呼応として、逆接の接続語がきて、その後に前の文の内容の否定に転じることになります。
似たような呼応関係に、なるほど・もちろん　などがあります。

例文

2　なるほどこの店のハンバーグはおいしい。だが、あの街のビストロのものほどではない。

この店のハンバーグを一旦褒め上げておいて、のちに下げてます。結果ビストロのハンバーグを上げています。

3　Bさんの案はもちろん優れてはいる。しかしAさんの案の方がより優秀だ。

Bさん案を褒めて上げておいてから、結局はAさん案の方が優れていると上げて、Bさん案は下がります。

このように、どちらの例文も接続語の前の内容を良いと一旦持ち上げておいて、のちに下げたり否定したりしています。それによって接続語の後の内容を上げています。
このパターンを知っておくと、評論文で使われている時に読みやすいでしょう。

まとめ

副詞の呼応関係では、前の内容一旦持ち上げておき、のちに否定で下げる。結果として後の内容が上がる。

たしかに
なるほど　⇩　持ち上げて褒める内容　｜しかし｜　逆接の接続語　などで否定　⇩　前の内容を下げて、結果、後の内容を上げる。
もちろん

例題E　次の文章で、副詞の呼応関係が成立する選択肢を二つ選べ。

1　なるほどこの絵画は素晴らしい。（　　）　この隣の絵画はあまり良くないね。
2　たしかに彼女は強くなりそうな選手だ。（　　）　世界ランク上位に行けるほどではないだろう。
3　もちろんこの歌の再生回数は伸びるだろう。（　　）今後はさらに伸びていくはずだ。
4　たしかにこのカレーライスは味が薄い。（　　）　カレーというよりカレー風味の味噌汁のようだ。
5　なるほどそれは一見良いアイデアのように思える。（　　）　よく検討したら欠点も多いようだ。
6　もちろん私もマナヅルはきれいだと思う。（　　）　タンチョウヅルも同じく美しい。

※例題の解答と解説は次のページにあります。

例題の解答と解説

例題E　次の文章で、副詞の呼応関係が成立する選択肢を二つ選べ。

1　なるほどこの絵画は素晴らしい。（　　）　この隣の絵画はあまり良くないね。

◎2　たしかに彼女は強くなりそうな選手だ。（　　）　世界ランク上位に行けるほどではないだろう。

3　もちろんこの歌の再生回数は伸びるだろう。（　　）今後はさらに伸びていくはずだ。

4　たしかにこのカレーライスは味が薄い。（　　）　カレーというよりカレー風味の味噌汁のようだ。

◎5　なるほどそれは一見良いアイデアのように思える。（　　）　よく検討したら欠点も多いようだ。

6　もちろん私もマナヅルはきれいだと思う。（　　）　タンチョウヅルも同じく美しい。

ポイント解説

1　しかし　を入れることができますが、副詞の呼応にはなっていません。
副詞の呼応は前の内容を一旦持ち上げて、その後にその持ち上げた内容を下げて、結果として後の内容を上げるのです。

2　強くなりそう→でも、もの凄く強くなるとは思えない　と、副詞の呼応になっています。上げる要素がこの文には直接ありませんが、暗示的に他の選手達はもっと強いという上げの要素となっています。

5　良いアイデアと持ち上げて、のちに欠点も多いと下げています。

6　持ち上げてからの下げがありませんし、前後が違う内容です。

これがもし、

もちろんマナヅルはきれいだ。しかし、タンチョウヅルの美しさにはかなわない。

となっていたら、マナヅルを一旦持ち上げて結局は下げて、タンチョウヅルの美しさを強調する副詞の呼応になっています。